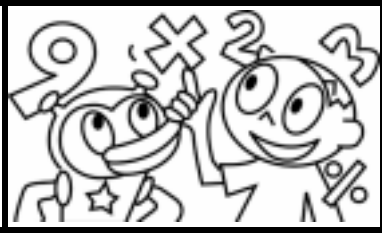


算数 学習相談		学研教育情報資料センター
		小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 整数と小数 / 理解シート

積の見積もり(見当づけ)は、なぜするの



積の見積もり(見当づけ)は、くわしい計算の答えがおよそどれくらいになるかを見当づける計算なんだよ。

ポイント▶ 積の見積もりで求めた積とくわしい積の、けた数が同じで、上から1~2けたの数字が同じであれば、積の見積もりは、ほぼ正しかったといえます。



8130×698の、見積もった積(見当をつけた積)とくわしい積をくらべてみましょう。

① 見積もった積(見当をつけた積)

$$8130 \times 698 \rightarrow 8000 \times 700 = 5600000$$

② 8130×698の筆算をします。

			8	1	3	0	
		×		6	9	8	
			6	5	0	4	0
		7	3	1	7	0	
4	8	7	8	0			
5	6	7	4	7	4	0	

けた数が多いから、計算ちがいをしないでね。



③ 見積もった積とくわしい積をくらべてみます。

5	6	0	0	0	0	0
5	6	7	4	7	4	0

→けた数は同じで、上から2けためまでは同じ。見積もった積は、ほぼ、正しかったといえます。

おぼえて
おこう

積の見積もりをすると、くわしい計算の積(答え)のまちがいが少なくなります。